



おおさわ学園
三鷹市立第七中学校
第3学年 進路だより
No.12
2018.10.26
校長 勝野 能光
進路指導主任 木村智佐子

推薦 七中の規準 推薦者の認定について

高校専修学校の推薦入試を希望する場合は、その学校の示す数値的な基準や条件に当てはまること前提となりますが、その前に「中学校の校長の推薦を受けた者」という条件があります。すでに配布した「進路だより 未来へ No.4」にも載せましたが、再度確認をしてください。

★推薦を受けられる条件は

推薦入試に当たっては、人物、学力、出欠席の状況、中学校の活動状況などが条件とされます。具体的には以下の通りです。

中学校 3 年間の生徒の成長を見て、校長先生や先生方が「この生徒はしっかりと取り組んでいるので、推薦の趣旨（目的や理由など）を理解し努力し、高校進学後も同じような姿勢で続けられる。」と判断できる生徒が該当します。そのための基本となる判断条件（できていないと困ること）には以下のようなことが挙げられます。

- () 学校生活にあたり、欠席や遅刻が少ない、チャイム着席ができていて、時間を守るなどの基本的なことができていて、(病気、怪我等の理由がある場合は考慮される。)
- () 制服の着こなし（スカートの長さ、靴下、ボタン等）や頭髪等の身だしなみ、不要物を持ち込まない等の校則を守っている。
- () 人に対して、被害を与えたり、困らせたりするような行為をしていない。
- () 集団生活をするうえで、他の人のことを考えた行動ができていて、
- () 授業はもちろんその他の諸活動にしっかり取り組んでいる。

さらに

- () 周囲への配慮ができ、その行動や仲間の良い影響を及ぼしている。

という「七中の目指す生徒像」（教室に掲示）に近づこうとしている人が推薦できる人です。

自分の行動を顧みてください。上の6項目にすべて〇が付きますか？

都立高校の推薦入試を受ける覚悟

推薦を承認されたとしても、次にも難関が待ち受けています。都立高校の推薦入試のためには、集団討論、作文（論文）、場合によってはプレゼンテーションの練習をしなければなりません。何時間もそのために費やします。

例：都立調布南高校の推薦選抜の配点

調査書点；500点 + 集団討論・個人面接点；200点 + 小論文；300点
=1000点

つまり、調査書点以外の500点分（総合得点の半分）の練習が必要。

しかし、その時間に他の人は教科の学習を進めているのです。集団討論練習、作文・論文練習、さらに自己PRカード作成に少なくとも合計15時間以上は費やすでしょう。推薦入試で落ちた場合、その後の一般入試（学力検査）のために遅れを取り戻すべく必死に教科の勉強をすることになります。

しかも推薦の倍率はとても高く、合格する人より落ちる人のほうが多いのです。

平成 30 年度都立高校入試結果

推薦 倍率；2.78 倍（普通科は 3.09 倍）

一般 倍率；1.38 倍（普通科は 1.52 倍）

さらに「駄目でもともとで受けてみます。」と言っていた人でも、いざ不合格の結果が出てしまうと、落ち込むものです。そうすると1~2日は勉強に手がつかないなんてパターンも多々あります。つまり、「学力検査と合わせて都立受検も2回チャンスがある。」などという軽い気持ちでは、受けるものではないということです。その高校に入りたい、そのための努力を惜しまないという確固たる意志と、時間をうまく使い、要領よく勉強を進めていく力と、困難から這い上がる強い心が必要となります。よく考えて決めてください。

他の人の志望校を尊重

具体的な受験校がこれから決まっていきます。自分の進もうとする道は人と比べるものではありません。「お前、どこ受けるの？」気軽に聞き、教えないと執拗に詮索する人がたまにいます。いくら仲の良い友達でも、すべて話さなければならないことはありません。いろいろな事情や条件や好みや希望があってその学校を選ぶのですから、受験情報誌等の偏差値やレベルのようなものだけでその学校のすべてを決めつけたり比べたりするような発言をしないでください。七中の学年の仲間の進路をお互いに尊重しあいましょう。

そして、お互いに励ましあいながら、団体戦で臨みましょう！

過去問貸し出します

教室の後ろにある高校等のパンフレットは活用していますか。進路情報室にはなくてクラスにおいてあるものも、クラスにはなくて進路情報室においてあるものもあるので、うまく両方を見て、情報をゲットしましょう。また、私立高校を絞ったら、入試の問題研究をしてみましょう。進路情報室の棚には貸し出し用の過去問があります。限られた高校のものしかありませんが、どうぞ手に取って見てください。貸し出しもしているので、利用してください。

●努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。（文学者・井上 靖）

★進路だよりは必ずその日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。